



6月号

神戸市立こうべ小学校

「かしこくなるためにめざす力」

5月の朝会で、「話し方・聞き方」の大切さを話しました。

『お勉強のよくできる子がいます。例えば、早く計算ができる。難しい問題が解ける。漢字をたくさん書ける。そういう力のある子がいます。とても立派です。そういう子は、テストでいい点が取れると思います。でもね、そういう力だけでは、残念ながら、上手に生きていくことはできないのです。では、どんな力が必要なのでしょう。それは、担任の先生が普段の授業で、いつも言っていることです。

1つは、名前を呼ばれたら、「ハイ」としっかりと返事をして立つことです。そして、最後までみんなに聞こえるような声で意見をしっかりと言い切ることです。もう1つは、先生や友達のお話を最後まで黙って聞くことです。そんなこと簡単だよと思いますか？毎日授業を見に行っていますが、お返事一つだけでも、きちんとできている子は、本当にすくなくいですよ。「ハイ」という返事を忘れている子が多いです。あるいは、返事の声が小さいです。また、意見を言っても、最後の方が小さな声になってしまって、安心して聞きとれません。

返事をする。最後まで言い切る。最後まで聞き取る。「話す」「聞く」が確かにできて、人と正しくちゃんと関わり合えることをめざしていきましょう。』

朝会で話した事は、1年生であっても6年生でもあっても繰り返し教えてあげないと身につけません。「話し方・聞き方」のルールがあつてこそ、子供同士が関わることができ、お互いのコミュニケーションが取れるようになっていくと思います。でも、子供ができなかった時やできていない時、「ちゃんと話を聞いていないから・・・」「集中して話を聞いていた？」と言ってないでしょうか？聞くためには私たち大人が聞けるようにしてあげないといけません。人が話を聞けないという時は、次のような場合が考えられます。

- ☆ 違うことを考えていたら、しっかり聞くことができない。
- ☆ 覚醒が下がると、しっかり聞くことができない。
(早寝早起きや基本的生活習慣の大切さがわかります)
- ☆ 他の音が入ると、しっかり聞くことができない。
(～しながらするのは、やはりだめです)
- ☆ シャベっている内容が分からないとしっかり聞くことができない。
(わかりやすく簡単な文で話すことが、やはり大切です)
- ☆ 聞きたくない内容はしっかり聞くことができない。
(叱る時は短い方が良いというのわかります)

「話す・聞く」はコミュニケーションの基本です。今の子供たちは、コミュニケーション能力が低いと言われ続けています。学校でも家庭でも「話す・聞く」を大切にしていかなければならないと思います。保護者の皆様も「話し方・聞き方名人」になって頂き、子供たちが多くの時間を費やしているテレビやゲーム（スマホ携帯を含む）の時間を減らし、少しでも向き合う時間を作って頂ければと思います。よろしくお願いいたします。

(校長 中田 宗義)